

七
杉
名
部

して出處不明の金を握人び歸つたとか甚かし
きに至つては若産主義者の秘密を洩して警視
庁から青島萬田を遣つたとか悪評が盛に流傳
されて居り、ましたこの間、府下王子に電産
に致して相州葦山に神田驥向台に轉々として
居りましたが彼の唯一の機關雜誌労働運動
の雑誌に於て主として發行して居りました彼はこ
の雑誌の思想を宣傳する計畫があつたのでありま
した。讀者は多く知識階級の白人々で見つ編

5

名
部

後編輯者も和田久太郎、川口慶助、村木某、
九津見房子等労働者自身又は労働體驗のある
人々が多数であつた。その間は、はらず雑誌は勞
働者の労働運動の現象でありました。例の大正十年
の労働運動界の現象でありました。知識階級の
排斥の火の午は、運動界から大杉一派をも葬り
去ろうとした。即ち無政府主義を奉
ずる労働者は結束した。大正十年二月
雑誌労働者を発刊した。雑誌労働運動
に對抗した。左のびあります。彼等はそれ